

平成27年5月16日

埼玉県知事殿

特定非営利活動法人メックス

代表理事 鈴木壽

1 事業の成果

法人設立10年目の2014（平成25）年度は、正規会員数を14名と前年と同様、賛助会員は活動縮小に伴い0人になった。

2014年度は、過去直近3年間のおもに福島県南相馬市での災害救援活動を終えて、一段落ついた状態であり、代表理事の鈴木壽を筆頭に会としての今後の運営方針について考える時期であった。災害救援活動は停止し、会員による会議等を行った。

（災害救援活動）

災害救援活動の技術支援研究を隔月に行った。

2 事業の実施に関する事項（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

（1） 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲 人数		支出額（千円）
災害時における 救助ボランティア事業	災害救援活動 技術研究	4～3月	主に吉川 本部	20	災害支援者	40名	2

平成26年度

特定非営利活動に係る事業

会計 財産目録

埼玉県知事殿

平成27年3月31日現在

特定非営利活動法人メックス

単位：円

科目	数量	金額		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金		1,303,880		
預金		418		
流動資産合計			1,304,298	
2 固定資産				
(1) 有形固定資産				
器具・備品				
Mac ノートブックPC	2	150,000		
Windows ノートブックPC	2	60,000		
ビデオカメラ	1	60,000		
有形固定資産		270,000		
(2) 無形固定資産				
Mac用 アドビソフトウェア	1	100,000		
Mac用 Windows7 Professional	2	140,000		
Win用 MS-Office	60	600,000		
無形固定資産		840,000		
固定資産合計			1,110,000	
資産合計 (A)				2,414,298
II 負債の部				
1 流動負債		0		
流動負債合計			0	
2 固定負債				
長期借入金		3,059,240		
固定負債合計			3,059,240	
負債合計 (B)				3,059,240
正味財産 (C) = (A) - (B)				-644,942

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 □の部分には、その他の事業を行う場合にあっては、「その他の事業」と記載し、事業毎に区分してそれぞれ別葉に作成すること。

平成26年度

特定非営利活動に係る事業

会計 貸借対照表

埼玉県知事殿

平成27年3月31日現在

特定非営利活動法人メックス

単位：円

科目	数量	金額		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金		1,303,880		
預金		418		
流動資産合計			1,304,298	
2 固定資産				
有形資産合計		270,000		
無形固定資産		840,000		
固定資産合計			1,110,000	
資産合計（A）				2,414,298
II 負債の部				
1 流動負債		0		
流動負債合計			0	
2 固定負債				
長期借入金		3,059,240		
固定負債合計			3,059,240	
負債合計（B）				3,059,240
III 正味財産の部				
前期繰越正味財産			-305,326	
当期正味財産増加額（減少額）			-339,616	
正味財産合計（C）＝（A）－（B）				-644,942
負債及び正味財産合計（B）＋（C）				2,414,298

- （備考）
- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 □の部分には、その他の事業を行う場合にあっては、「その他の事業」と記載し、事業毎に区分してそれぞれ別葉に作成すること。

平成26年度

特定非営利活動に係る事業

会計 収支計算書

埼玉県知事殿

平成27年3月31日現在

特定非営利活動法人メックス

単位：円

科目		金額	
I 収入の部			
現金			
正会員会費（14名分）	140,000	140,000	
2 寄付金募金等収入	160,413	160,413	
3 備品販売等収入	200,000	200,000	
当期収入合計（A）			500,413
前期繰越収支差額			-708,122
収入合計（B）			-207,709
II 支出の部			
1 事業費			
災害時における救助ボランティア事業 災害救援 技術研究	1,888	1,888	
2 管理費			
旅費交通費	2,276		
資料代	700		
租税公課	1,200		
水道光熱費	0		
福利厚生費	0		
消耗品費	570	4,746	
3 減価償却			
特別償却（マイクロバス譲渡に伴うもの）	760,000		
特別償却（PC 4台の譲渡に伴うもの）	360,000		
減価償却	155,000	1,275,000	
当期支出合計（C）			1,281,634
当期収支差額（A）－（C）			-781,221
次期繰越収支差額（B）－（C）			-1,489,343

（備考）

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 □の部分には、その他の事業を行う場合にあっては、「その他の事業」と記載し、事業毎に区分してそれぞれ別葉に作成すること。
- 3 その他の事業を行う場合は、その他の事業会計収支計算書及び特定非営利活動に係る会計収支計算書について、その他の事業から特定非営利活動に係る事業会計への繰り入れが明らかになるような科目を追加し、経理すること。